

あいちの印刷

10

2012.10
No.491



夕日に染まる曾爾高原のススキ

もくじ

- 巻頭言「コンセプトの時代を勝ち抜くためのシックス
センス」／労務・新人教育委員長 酒井良輔 …… 3
- 愛印工／中小企業のメンタルヘルス対策
取組支援事業「メンタルヘルス対策セミナー」 …… 4
- 2012全日本印刷文化典北海道大会開催 …… 8
- 日印産連
印刷業界の健康障害防止策を推進 …… 10
- 「健康障害防止対策の基本方針」 …… 11
- 厚生労働省 印刷業に対する有機溶剤
中毒予防規則調査結果（速報） …… 12
- 日印産連／「印刷の月」記念式典開催 …… 13
- 身近な催し物のお知らせ …… 13
- 第3回「ポスターグランプリ」審査会 最優秀賞決まる
／事務局だより …… 14

「コンセプトの時代を勝ち抜くためのシックスセンス」

労務・新人教育委員長 酒井 良輔

コンセプト（付加価値）の時代

これからは、創意や共感、そして総括的展望を持つことによって社会や経済が築かれる時代が訪れる。それは専門力ではない総合力の時代、答えのみえない社会、格差社会、「コンセプトの時代」である。社会は、農業の時代→工業の時代→情報の時代（左脳主導思考のナレッジワーカーの時代）→コンセプトの時代（創造する人、他人と共感できる人の時代）と移行していく。その理由は以下の3つである!!

- ①アジア（次から次へと沸き出す低賃金、左脳型ルーチンワークのほとんどが低コストで行われている）
- ②豊かさ（物質的ニーズが満たされ、美しさや感情面を重視する傾向、物事の意味への追求へ転換）
- ③オートメーション（そんなの脳ではすべて代行されてしまう）(汗)

コンセプトの時代に付加価値を高めるために必要な要素として以下の6個のセンスが重要である。というのが本書の内容。著者はダニエル・ピンクという作家で、不都合な真実で有名になったアルゴア元副大統領のスピーチなどを書いてきた人です。

付加価値を高める6個のセンスに分けて説明しているのですが、シックスセンスという名前といい、この6個の分類といいよく考えられた発想フレームワークだと思えます。

- ①機能だけではなく「デザイン」
このスーツは夏でも涼しいといった機能だけでなく、パッと見て素敵だな、という印象を訴えかけるものでなければならないということです。
- ②議論よりは「ストーリー」
AかBかといった議論よりも、ストーリー、物語性のあるもののほうが選ばれるということです。
- ③個別よりも「調和（シンフォニー）」
各論や問題の焦点を追求してだけでなく、シンフォニー、全体調和を図っていくことが大事だということです。

④論理ではなく「共感（エンパシー）」

これからは、相手を説得するには理論だけでなく、相手を思いやり、エンパシー、共感することが大切

⑤真面目だけでなく「遊び心、ユーモア」

これからは真面目さだけではだめで、遊び（心）が必要だということ。堅い話ばかりでなく、ジョークやユーモアを交えて皆を巻き込み、一緒に歩んでいくということです。

⑥モノよりも「生きがい、ライフミーニング」
私たちが動かす最強のエンジン。人の主な関心ごととは、喜びを得ることも、痛みを避けることでもなく、自らの人生に意義を見出すことなのである。人を動かす動機というエンジンは生きがいを追求することにある。

このシックスセンスの要素は政治や経済に社会に幅広く影響し始めています。デザイン性を高めることによりサムスンが大躍進を遂げ、よりよい生活というストーリーの語り手ジョブズの影響でアップルが大流行。政治の世界を見てみればアメリカの大統領は議論・イデオロギー型のブッシュから共感・対話型のオバマへ移行、日本の大学の授業もハーバード白熱教室の影響か対話型の授業が増えた気がします。

自分とは何者であるかというアイデンティティが問われる時代になり「生きがい」を考えるようになりました。その背景にはグローバル化や競争を正義とする資本主義による個人化の影響があります（参照：個人化された社会、パウマン）

このように見ると確かに世界はコンセプトの時代になってきていると言えるかもしれません。かつてイギリスは製造業において世界一になりましたが、アメリカに敗れ、そのアメリカもやがて日本に敗れます。そして現在日本は中国に敗れようとしています。経済学や歴史に学ぶなら労働力の安さだけでは勝負できないクリエイティブな付加価値産業にシフトして行かざるをえません。皆さん、一緒に明るい未来型印刷産業（幸せな企業）を作りましょう。

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 **アクス**

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

東京営業部 TEL:0521-220-5511 FAX:0521-220-5522
LED事業部 TEL:0521-220-5518 FAX:0521-220-5526
http://www.axuas.jp / E-mail: info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。

聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。

必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずですよ。
心よりお待ち申し上げております。

「心のサインを見逃すな！」①

～企業におけるメンタルヘルス対策～



講師：齊藤政彦

大同特殊鋼株

統括産業医兼星崎工場研究開発本部産業医

労働衛生コンサルタント／星崎診療所所長

●何故、メンタルヘルスに取り組むのか

メンタルヘルスの問題が急増しています。一番端的に表しているのは自殺者の数です。自殺者の数が年間3万人を越えた状態が、1998年から14年間連続して一向に減りません。交通事故の死者数は、年間5,000人を切って昨年は4,611人でした。交通事故で死亡する6倍以上の確率で自殺者がいます。また、うつ病も100万人を越え増加中で、これまでの4大疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病）から精神疾病を含めて、5大疾病といわれるようになりました。うつ病を職場で取り組む最大の理由は、仕事が主な原因であるためです。仕事、職場に原因がありますから、職場で取り組まなければいけないわけです。そして、事故（労働災害、交通事故）の素因にもなっています。ボケーとしていて、起きなくてよい事故が起き、起きなくてよいミスがでます。そして、過労死、過労自殺の原因にもなります。過労死は英語でも“Karoshi”といいます。働きすぎて死ぬことを“Karoshi”といい、全世界で通じません。英語に訳せないわけではありません。しかし、訳して使いません。何故なら、日本人特有の現象で

すから、日本語のまま使われているわけです。

誰でも仕事より命が大事なことは、わかっています。しかし、追い詰められるとわからなくなります。一番大事なのは自分の命であるのに、何故、毎年3万人もが自ら一番大事なものを捨てています。追い詰められると自分自身で判断ができなくなってしまうからです。過労死、過労自殺が起きますと、会社の責任が問われます。安全配慮義務違反です。場合によっては上司が訴えられます。1998年から自殺者が増え、その増えたほとんどが労働者ということですから。厚生労働省も2006年に労働安全衛生法を改正し、対策が法的義務になりました。さらに、今、国会で議論されているが、2013年から全労働者に対して、ストレスチェックが開始されるかもしれません。

うつ病は、最も経済へ悪影響をもたらす病気です。死亡の第一は、20世紀は心筋梗塞でした。ところが、21世紀になり断トツでうつ病になりました。その損失は、有能な従業員が辞めてしまう、休む場合は通常疾病の2.5倍は長くなります。さらに、出勤してきてもパフォーマンスが上がらない。上司、同僚のケアが必要で、周囲の負担も大きくなります。そして、産業医・保健師の雇用、外部相談機関との契約が必要となり、かなりの出費を強いられ、結果として、メンタルヘルス対策なしでは、会社は生き残れない時代になった、といっても過言ではありません。この機会に自分たちの問題と捉えて、前向きに取り組んでいただきたいと思うわけです。

●職場でのメンタルヘルス対策

職場では予防に取り組みます。発症後の対策はもぐら叩きになります。予防では、「遠い専門家より、身近な素人」が重要です。治療は、どんなに遠くても専門家に見てもらわなくてはなりません。予防は、特にメンタルヘルスは日々、刻々変化しますので、いちいち遠い専門家をあてにしても機能しません。身近な人がしっかりと勉強して、早めに対応することが重要になります。職場で身近なのは、管理監督者であり同僚です。こうした人たちが勉強し

愛印工組は、愛知県から「中小企業のメンタルヘルス対策取組支援事業」を受託し、その事業の一環としてメンタルヘルス対策セミナーを8月21日、9月6日の両日、メディアージュ愛知（愛知県印刷会館）で開催しました。本稿は、その折の講演内容を纏めたものです。（今月号と来月号にわたり掲載）

て、コミュニケーションの良い快適職場をつくりま
す。もし、発症してしまったら、早期発見し、軽い
うちに治療して、休まないですむようにするのが重
要です。

メンタルヘルス対策で最も大切なのは、トップの
理解と決意表明です。まず、トップがその気になら
ないといけません。やって損ではありません。むしろ
やらないと会社が生き残れない時代です。次に、
管理監督者教育です。管理監督者は、職場のキー
パーソンですから、この人たちが前向きに取り組め
るような教育を行わなくてはなりません。管理監督
者は職場の雰囲気左右します。「メンタルヘルス
が重要である」と管理監督者が思えば、職場全体が
そうした雰囲気になりますから、セルフケアも進み
ます。逆に「メンタルヘルス、そんなものは個人の
問題だ、怠けだ」と突っぱねてしまったら、まった
く進みません。管理監督者は、従業員に日々接して
いますので、ちょっとした異常から早期発見が可能
になります。

いずれにしても、気づくことが第一です。ゆで
蛙にならないようにしなくてはなりません。生命は、
自分にとって危機的な状況が突然現れれば、気づ
いて避けることができます。ところが、じわじわる
危険には気づきません。「仕事が忙しいと大変だが
、何とかできる、さらに仕事が増える、何とかで
きる」これを繰り返して、ある時突然、うつ病、
つまり“こころのガス欠状態”になってしまう。

まず、慢性疲労状態に気づきます。体は必ず危険
信号を出していますので、その危険信号に気づいて
早めに充電することが必要です。また心身症は、ス
トレスが発病の原因となっている病気で、高血圧、
潰瘍、心筋梗塞、頭痛、肩こり、腰痛、アトピー、
過敏性腸症候群などたくさんあります。これらは気
づいてストレス対策をしませんと、根本的な治療
になりません。さらに、ストレスを受けやすい自分
の性格に気づくことも大切です。

身体の発する危険な兆候としては、お腹がよく痛
くなる、下痢が続く、食欲がない、朝方吐き気がす

る、寝つきが悪い、途中で目が覚めて眠れない、倦
怠感が続く、頭痛やめまいがよく起こる、腰痛、肩
こりがひどくなった（腰痛50人のうち1人はうつ病
です）、タバコ、酒の量が増える、休日はどこへも
出かける気にならない、などがあります。うつ病は
“心のガス欠状態”ですから、休みの日も動けない
し、誰とも会いたくないわけです。

●ストレスに弱いタイプAは要注意

タイプAの人は、時間に細かくせっかちで、ノル
マを追求し、競争心が強く、敵意などが前面にでる
などの特徴があります。通常、アメリカ人は敵意を
だしますが、日本人は敵意を抑えて、仕事に熱中し
ます。ストレスをまともに受けて、心筋梗塞やうつ
病にかかりやすい。その反対が、タイプBです。タ
イプBの典型的なのが、映画「釣りバカ日誌」の浜
ちゃんです。

タイプA判定をしてみてください。当てはまる項
目が多いほどタイプA人間です。

①自分は責任感が強い方だ、②融通がきかない、
③自分を認めてもらいたいと強く思う、④すぐかつ
となる、⑤せっかちである、⑥時間に細かく、人を
待たせることが嫌い、頼まれたら断れない、⑦家に
帰っても仕事のことをよく考える、⑧何事もついぎ
りぎりまで頑張ってしまう、⑨一度に多くのことを
やろうとする、⑩ボケーとしていることは嫌いであ
る、⑪早口でしゃべる、食事も早い、⑫他人の評価
を常に気にする、⑬趣味がない、仕事をしていると
きが一番充実している。

半分以上当てはまる人は、うつ病になる可能性が
高いと考えられますので注意が必要です。タイプA
は悪いことではありません。ですが、気づいて対策
を立てないと病気になります。気づいて直すことが
重要だということです。

ストレスに強くなるためのセルフケアの基本とし
て、次の点を心掛けてください。

①肉体的に健康＝適性飲酒、充分な休養、適度な
運動を心掛ける。

②ストレスの受け止め方を工夫する＝何事も決
めてかからない柔軟性を持つ。自分にも相手にも
100%を求めない（まあ いいや）。良いストレス
と悪いストレスを区別する。自分が成長できる適
度な緊張感などが良いストレス。

③家族を大切に。家族が最も強い見方＝家庭
にストレスを持ち込まない。もし、機嫌が悪かった
ら理由を説明して理解を求める。



「根っこは一つ」症状・行動・診断はさまざま、変化の出現は各人それぞれ、いかに枝葉の段階で早期にキャッチするか!

④人間関係の改善のために＝相手の良いところを見て、悪いところを我慢する努力をする。

特に、上司にとってのメンタルヘルスはコミュニケーションの一言です。如何に良好なコミュニケーションを維持するかが最大の課題であり、予防、早期発見の基本です。

①顔を見て視線を合わせて挨拶をする。顔色から健康状態を伺う。

②話し合いの機会を創る。

③常に笑顔で心掛ける。逆らわず、いつも笑顔で。

④仕事の能力、ストレス耐性には個人差がある。個人差を理解して、如何にその人の持つパフォーマンスを最大限に引き出すか。

⑤負担の偏りに配慮する。

⑥問題者への積極的な声かけ。

⑦話を聴く(傾聴)。

●早期発見・対応のポイント

職場のメンタルヘルス対策は、予防対策と事例対応が車の両輪です。予防対策は、職場環境改善、教育です。事例対応は、早期発見、早期対応、職場復帰支援です。いずれが欠けてもうまく前進しません。

メンタルヘルス不調者がでた場合、如何に早い段階で発見して、対応をするかが必要になります。

“心のサイン”を見逃さないで発見し、休まないで健康に働き続ける方向に進めます。しかし、どうしても休んでしまう場合があります。その時は、復職支援をしますが、治療は主治医と個人に任せます。

いずれにしても、早期発見が一番になります。早ければ早いほどよく、軽症で休まずにすみます。ですから、如何に早い時期に見つけるかということが大きなポイントです。さらに、早期対応があります。重要なことは、“丸投げ相談先”を確保することです。早期発見しても、その後どうするかが見えてこないと機能しません。発見したら、すぐに、どこどこへ渡せばよいという、渡す先が見えていないとダメです。

私たちは、管理監督者に「あなた方にやって欲しいことは、異常者、問題者を早期発見して、話を聞くこと。ここまですべてよい。あと全部、こちらに任せなさい」といいます。リスク管理です。小さなリスクを大袈裟に受け止めて、結果的にたいしたことがなくても許される。ところが、大きなリスクを小さく見積もったら取り返しが付かなくなります。これは許されません。ですから、丸投げ相談先を作っておくことが必要になるわけです。

●異常を発見しやすい職場

ストレスは、人間に対していろいろな反応を示します。憂鬱、イライラなど、うつ病症状を示す心理的反応があります。身体の病気である身体的反応と行動的反応があります。近年、切れる大人が問題になっていますが、これもストレスからきています。

いろいろな反応がありますが、根っこにあるのはメンタルヘルス不調です。できるだけ枝葉の段階でキャッチして対応していきます。うつ病の診断がでたら遅く、根腐れは防げません。おかしいなと思ったらアクションを取ることを心掛けてください。

PP貼りサービス始めました
PP貼りだけの仕事やります
 制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました

大日印刷株式会社
 ☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463

印刷機械
 製本機械
 製本機械
 DTP関連機
 印刷塗材料
 データ制作
 オンデマンド印刷
 データ出力

お役に立てる
 印刷関連
 総合商社

株式会社 **盛功社**

120余年の伝統に
 培われた信頼と
 先進の
 テクノロジー

〒481-0014 名古屋市中区栄区本町3丁目17番地
 TEL 052-632-5611 FAX 052-631-0280
<http://sekouha-net.jp/>

職場で見られる症状としては、①勤怠が不良になって、遅刻したり、早退したり、休む、②パフォーマンスが低下する。仕事の効率が低下する、③体調不良が続く、④行動が変化する、離席が多い、宴会で暴れるなど、これまでと違う変化に気づき、おかしいと感じることが重要です。

早期発見の合言葉は、「吉野家のけちなボーイ」です。「よ」弱気になる、「し」失敗、ミスをする、「の」能率がさがる、「や」辞めたいという、「の」飲む量が増える（酒、タバコ）、「け」欠勤、「ち」遅刻、「な」泣きごとをいう、「ぼー」ぼーとしている、「イ」いらいらする、あるいは居眠りをする。

そして、早期発見のために網を張り、その網の目を細かくする作業が必要です。小さい変化を見逃さないためには、多くの人がそうした目を持ち、「報・連・相（報告・連絡・相談）」をします。関係者が連携し、地道に勉強して感度を上げれば、目が細かくなり、見逃さないようになります。

●コミュニケーションは話を聴くこと

おかしいと思ったら、声をかけて、次に話を聴きます。コミュニケーションが重要です。コミュニケーションの基本は聴くことで、いくら話すほうが雄弁に語っても、聴く方が聴く耳を持たないと、コミュニケーションは成り立ちません。逆に話す方は、どれほど口下手でも、たとえ言葉をしゃべれなくても、聴く人が真剣に耳を傾けると想いは通じます。コミュニケーションの主役は聴く方です。

誰でも、会社に対して仕事で認められたい、貢献したいと思っています。傾聴してやればやる気をだしますが、逆に話を聴かないとやる気をなくします。考え方や好みは多様化していますが、話を聴かないと相手の考えはわかりません。

上司が諦めたらおしまいです。コミュニケーションを取れない部下が、上司に対してコミュニケー

ションをとる努力をすることはありません。そして、何を考えているか分からない部下は、特にメンタルヘルスで追い詰められると、何をしでかすかわかりません。一番極端な例が、秋葉原で7人を殺した事件です。あの原因はメンタルヘルスです。

上司の何気ない行動が、結果的にとんでもない行動に追いやることがあり、上司は、飲み会の席で、できの悪い部下を捕まえ、ねちねちと責める、あるいは延々と自分の自慢話をする、こんな飲み会がおもしろいわげがありません。できの悪い部下に声をかけ、その自慢話を聞いてやる、これを是非行っていただきたい。だれでも自慢話をするのは気持ちいい、しかも上司が聞いてくれるとなれば、信頼度がぐっと上がります。

さらに、日頃から自分は話を聴く上司だと思わせておきます。この上司が話しかけてくれたときには、キチント話を聴いてくれる絶好のチャンスと思えば、今やっている仕事をおいてでも話をするようになります。傾聴する上司は、部下にとってサポーターになる一方、傾聴しない上司は部下にとってストレッサーになります。

精神疾患が業務上、労災か、労災でないかの診断基準がきちっと決められています。パワーハラスメント（パワハラ）は、2009年に労災認定基準が改訂され、パワハラの実態が客観的に証明されたら、まず労災となります。では、パワハラをどう防ごうか。特に上司としてどうするか。パワハラは、「職権背景に、業務の適正範囲を超えて、人格や尊厳を侵害して、働く環境を悪化させ、雇用不安を与える」と定義しています。しかし、何処までが業務の範囲か難しいところです。

パワハラを予防する方法には、①上司はまず自分のメンタルヘルスを良好に保つことが重要で、誰でもストレスが高じると攻撃的になります。②良好なコミュニケーションを保つために話を聴きます。③信頼関係を保つ必要があります。信頼関係があれば良い方にとってくれるし、信頼関係がないと悪い方に取られます。

叱ることは、業務上、あるいは部下の成長において必要ですが、ただし、配慮が必要です。叱る前に相手の言い分にしっかり耳を傾け、感情的にならず、愛情を持って理屈で説明します。人格ではなく、行為を問題視し、部下の個性に合わせて対応します。そして、フォローを忘れない。こうした配慮をすることでパワハラは防ぐことができます。

（以下次号）

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社
メイカミ
tokon 名古屋紙商事株式会社
社長 長谷川 志

名古屋市長区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(F) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0566)28-2049

2012全日本印刷文化典北海道大会



式典で挨拶する島村会長（左下）
全日本印刷文化典北海道大会の様相



北の台地から発信“業界の未来図” フォーラムで「CSR事業」提言

全日本印刷工業組合連合会(島村博之会長)、北海道印刷工業組合(岡部康彦理事長)が主催する「2012全日本印刷文化典北海道大会」が9月20～22日の3日間、札幌市・札幌パークホテルをメイン会場に開催されました。北海道開催は15年ぶりで、全国から約600人の印刷人が一堂に集い、「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」をテーマに、21日には、記念式典・全印工連メッセージ、記念講演、記念パーティー、22日には、理事長会、事務局研修会、全印工連フォーラムなどが行われました。

当愛印工組からは、木野瀬吉孝理事長ほか細井俊男、鳥原久資、岡田邦義、高井昭弘、岩瀬清、木村吉伸、松岡祐司、酒井良輔、猪飼重太郎、長苗克彦、小出一郎、服部恭政、加藤修の各氏が参加しました。

■組合功労者顕彰で、高井、岡田、阿部、小出の4氏が表彰

記念式典は午後2時より開催され、開催工組を代表し岡部康彦北海道工組理事長が、「フロンティア精神溢れる北の台地に、全国の印刷人が一堂に会し、印刷産業の発展に繋がる共通の認識を深めていただくことを願っています」と歓迎の言葉を述べました。次いで、全印工連島村博之会長が挨拶に立ち、「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道をテーマに、2012全日本印刷文化典北海道大会を開催します。この大会が、中小印刷業の団結と協調を促す貴重な場となり、併せて、将来の業界発展に繋がる有益な情報交換の場になればその意義は大きく非常に価値があります」と述べ、さらに、全印工連フォーラムにおける「CSR事業」に触れ、「5月に発覚した労働安全衛生に係わる一連の問題も、CSRというフィルターを通せば、多くの学ぶべき点、そして反省すべき点が見えてきます。法の遵守は勿論のこと、さまざまな関係者の立場を理解・尊重し、地域社会から信頼されることが如何に大切なことか、CSRの必要性が明確な形となって浮かび上がってきます。信頼に支えられた持続可能な企業になるためにも、CSRの本当の意味を知り、そして、企業としてのCSRへの取り組みの大切さを理解していただきたいと思います」と述べました。

来賓祝辞の後、表彰式に移り、平成24年印刷産業発達功労者顕彰では、長年にわたり業界発展に尽力した水上光啓理事・顧問(水上印刷(株)社長)、西井幾雄相談役(株NPCコーポレーション社長)、今野敦之参与(株ユーメディア社長)の3氏が表彰され、また、組合功労者顕彰では、当組

合から高井昭弘、岡田邦義、阿部浩治、小出一郎の4氏が表彰されました。

印刷文化典宣言を北海道工組青年部大和繁樹事業委員長が力強く読み上げ採択されました。

続いて行われました「全印工連メッセージ」では、現在の印刷産業が抱える課題を提起し、その解決策を模索するための業界活動の方向性が確認され、全印工連が新体制の下で推進する事業概要を軸に、将来への提言を含んだメッセージが発信されました。また、労働衛生問題への対応について言及し会長声明を発表しました。(別項参照)

記念講演では、講師に鈴木直道夕張市長を迎え、「や



高井昭弘氏



岡田邦義氏

平成24年9月21日

組合員の皆様へ

全日本印刷工業組合連合会
会長 島村 博之

本年5月に胆管がんの報道がなされ、現在、印刷業界の労働環境および安全衛生の管理が注目されています。

全印工連では、これまで職場の労働環境改善に向けて、有機溶剤中毒の予防と対策、有機溶剤および特定化学物質等作業主任者の選任、さらにグリーンプリンティング認定制度など、環境経営という視点から積極的な周知・啓発を行ってまいりましたが、今回このような事態が生じたことは、誠に残念であり、組合員をはじめ真剣に取り組んできた方々には、無念でならないと思います。

今、私たちにできることは、この問題を契機とし、より安全性の高い洗浄剤への切り替え、法律に基づく適切な労働衛生管理の徹底など、組合員各社が職場の労働環境の改善に努め、地域、顧客、社員などに対して広く「安全である」ことを宣言することです。そのためには日印産連のグリーンプリンティング認定を取得することが有効な一つの手段と考えます。

当連合会では、厚生労働省や経済産業省が参画する日印産連・労働衛生協議会に積極的に協力して、再発防止に向けた職場環境の改善に関する啓発や印刷業界の信頼回復に努めてまいりますが、是非、組合員の皆様が「今できること」を積極的に進めていただきますよう、よろしく願います。

らなければゼロ！新たな可能性を創造するまちへ！」と題し講演が行われました。氏は2011年に30歳で全国最年少市長として就任。演題は、当選後に行われた最初の議会で述べた所信表明の言葉から取っています。都庁の職員から夕張市の財政再建のために立ち上がり、どのような展望を切り開いてきたのか、問題発掘の視点や実効力、チャレンジ精神などが披露されました。

記念パーティーでは、北海道の食と文化に触れながら親睦と情報交換に一時を過ごしました。



阿部浩治氏



小出一郎氏

■全印工連フォーラム

持続可能な経営を目指し戦略的CSRを提案

22日午前9時30分より開かれた「全印工連フォーラム」では、「CSR」をテーマに、今期から設置されたCSR推進専門委員会が中心となり実施されました。

CSR推進専門委員会池田幸寛委員長の「戦略的CSRのご提案～持続可能な経営を目指すために～」の講演が行われ、その中で、CSRの基本概念と印刷業界として取り組むべき内容が解説されました。続いて、ワールドカフェ「CSRの理解を深めるために」が大川哲郎委員のリードで行われ、活発な意見交換とともに、新たな経営戦略としてのCSRへの理解を深めました。最後に、江森克治副委員長が「明日へのCSRへの取り組みについて」総括しました。

フォーラムの席上、「戦略的CSRのご提案～持続可能な経営を目指すために～」と題した小冊子が紹介されました。冊子には、CSRは時代の潮流になっています。CSRとは何でしょうか、何故、CSRが必要なのでしょう、中小企業はどうCSRに取り組めばよいのでしょうか、基本的CSRと戦略的CSRの考え方について、印刷業としてのCSRビジョン、日常業務に深く根ざしたCSRのためになど、CSRについてのイロハが解説されており、CSRを知るには格好の啓蒙書となっています。

日印産連

印刷業界の健康障害防止策を推進 — 遵守と洗浄剤切り替えを宣言 —

第2回労働衛生協議会で基本方針策定

印刷事業所における従業員の胆管がん発症及び死亡に関する問題は、社会的に大きな注目を集め、印刷産業に係わる多くの関係者に不安を与えている。そのため、印刷業に従事する者が健康に不安を抱かずに働けるよう、企業や業界団体が一丸となった取り組みが求められている。

厚生労働省並びに日印産連で行った調査結果で、多くの事業所が有機溶剤中毒予防規則の適用状況に何らかの問題があったことが判明した。日印産連では、7月に労働衛生協議会を設置し、印刷業界における健康障害防止対策を推進している。

第2回労働衛生協議会においては、年間活動の具体的内容を検討すると共に、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、がん原性指針などに対する遵守の徹底と、オフセット印刷事業所における有害性の低い洗浄剤への切り替えなどを盛り込んだ「健康障害防止対策基本方針」を決定した。基本方針は以下のとおり。

(1)各印刷事業所は労働衛生関連法令の理解を深め、遵守措置の徹底を図ること。

(2)オフセット印刷事業所では、より有害性の低い

(社)日本印刷産業連合会(足立直樹会長)は、印刷事業所の「化学物質による健康障害防止対策の取り組み」の強化を図るため、平成24年9月4日に第2回労働衛生協議会(岩崎好陽委員長)を開催し、3項目からなる「健康障害防止対策基本方針」を策定、12日に公開した。

今後、印刷業界内に広く周知し、防止策の推進を図っていく。中でも、約2万部の周知パンフレットを発行するとともに、非会員企業への周知を考慮し日印産連のホームページからもダウンロードできるようにする。

ことがわかっている洗浄剤などへの切り替えを積極的に行うこと。

(3)上記(1)、(2)に係わらず、従業員の健康を守るため、必要な健康障害防止対策を継続して実施していくこと。

9月12日には、日印産連が主催し開催された「印刷の月」記念式典では、足立会長自らが基本方針について触れ、産業界としての取り組みをアピールした。今後、印刷業界内に広く周知し、印刷職場の作業環境の改善、化学物質による健康障害防止策の推進を図ることとなった。同時に、遵守措置の徹底を図るため、印刷事業者が行うべき措置を明確にした周知パンフレットを9月中に約2万部発行する。本パンフレットについては、会員企業への周知の徹底及び非会員企業への周知も考慮に入れ、日印産連のホームページからもダウンロードできるように配慮している。

社団法人 日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館
8階 TEL03-3553-6051

日印産連ホームページ：<http://www.jfpi.or.jp/>

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、
逆くの字調配列を採用した
正菊半サイズの省スペース機

大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種



株式会社 桜井
〒135-0032 東京都江東区堀江2-2-0
TEL:03)3643-1131 (FD) FAX:03)3643-1138

中野営業所
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL:0575)35-2551 (FD) FAX:0575)35-2881

大府営業所
〒532-0012 大阪府淀川区大石3-1-31
TEL:06)6308-6651 (FD) FAX:06)6308-6679

九州営業所
〒810-0051 福岡市中央区天神5-5-8
TEL:092)741-2672 (FD) FAX:092)741-2670

岐阜工場
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL:0575)33-1260 (FD) FAX:0575)33-3146



「健康障害防止対策の基本方針」

(社)日本印刷産業連合会／労働衛生協議会

(1)はじめに

校正印刷会社従業員の胆管ガン発症及び死亡に関する問題は、社会的な注目を集めて印刷産業界に多大な影響を与えている。この影響は、印刷産業に係わる多くの関係者に不安を与えており、印刷業で働く人々が、健康に不安を抱かずに働けるよう、企業や団体が一丸となって取り組むように求められている。

当連合会では、新たに創設した労働衛生協議会のもとで化学物質による健康障害を防止する対策として、労働衛生関連法令遵守のための措置、健康障害リスク回避に向けた対策の検討を行ない、特に重要でかつ早期対応が必要な遵法措置と洗浄作業に関し、「労働衛生協議会・健康障害防止対策基本方針」を決定した。ここに、健康障害防止対策の方向性を示し、印刷事業者実践を促すこととする。

(2)労働衛生協議会・健康障害防止対策基本方針

1)各印刷事業所は労働衛生関連法令(*)の理解を深め、遵法措置の徹底を図ること。

2)オフセット印刷事業所では、より有害性が低いことがわかっている洗浄剤などへの切り替えを積極的に行なうこと。

3)上記、1)、2)に係わらず、従業員の健康を守るため、必要な健康障害防止対策を継続して実施していくこと。

(3)基本方針の考え方について

印刷業界の実態調査から、労働衛生関連法令の遵

守並びに健康障害防止対策が不十分であることがわかってきた。企業として法令を遵守することは当然のことであり、また、従業員の健康を守る上での最低限の措置であることから、これを基本方針の第一とした。

また、化学物質による健康障害防止対策としては、有害性の高い有機溶剤から、より有害性の低いことがわかっている物質の製品に切り替えることが重要である。特に、オフセット印刷事業所では、洗浄剤などに使用される有機溶剤は、他の物質で代替できることが多い。

そこで、安全データシート(SDS/MSDS)などで含有する化学物質と取り扱い方法、及び、適用法令を十分に把握し、より有害性の低い洗浄剤などに切り替えることが最も効果的な方法である。よって、これを基本方針の第二とした。

次に、職場の安全性をさらに高めるため、法令遵守、製品の切り替えに止まらず、従業員の健康障害防止対策を継続的に実施していくことが重要である。そのため、常にこれらに関する情報を収集し、従業員の健康を守るため、企業をあげて実施していくことを基本方針の第三とした。

(*)労働衛生関連法令とは、一般的に労働安全衛生法のほか、労働安全衛生規則、有機溶剤中毒予防規則(有機則)、特定化学物質障害予防規則(特化則)とされるが、ここでは法令に準ずるものとして、がん原性指針(平成23年健康傷害を防止するための指針公示第21号)、並びに、特に平成24年7月23日に厚生労働省から通知のあった「印刷業などの洗浄作業における有機塩素系洗浄剤のばく露低減化のための予防的取り組みについて」も含めて指すこととする。

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

自校正

Digital Konsensus Premium Ultimate Edition

Folbaid AQUA

デジタル印刷

bizhub PRESS C7000

環境対応フラット

ケミカルレスCTPシステム

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

■厚生労働省 印刷業に対する有機溶剤中毒予防規則調査結果（速報）

集団説明会の開催／出席のない事業場に個別指導を実施

厚生労働省では、印刷業に対する労働衛生対策の一環として、「印刷業に対する有機溶剤中毒予防規則などに関する通信調査」を実施、8月末までの状況結果を速報として発表した。厚労省では、この調査結果を受けて、「今後は、有機溶剤

中毒予防規則（以下「有機則」という）などの対象物質を使用していると回答した事業場と通信調査に未回答の事業場に対し、集団説明会を開催することなどにより、今後も有機則などの遵守徹底を図っていくことにしている」としている。

【通信調査の結果（速報）】

①8月末での回答状況

調査数＝18,131事業場、有機則など対象＝7,009（39％）事業場、有機則など対象なし＝7,258（40％）事業場、未回答＝3,864（21％）事業場。（表1参照）

未回答については、調査票の回答がなく、代表者や担当者と連絡が付かないなどの事業場であり、今後、確認を進め回答が得られれば、集団指導などの対象外になる場合もある。

②有機溶剤などの管理状況

有機則などの対象物質を使用していると回答した事業場の回答票を、先行して集計している19局（2,628事業）の状況は次のとおり。（表2参照）

③表2の5で、作業環境測定を実施していると回答した事業場の直近の管理区分（387事業場分）は、第1管理区分のみ57.9％、第2管理区分がある26.6％、第3管理区分がある14.2％、不明1.3％となる。（表3参照）

8月末での回答状況

調査数	有機則等対象	有機則等対象なし	未回答
18,131	7,009 (39%)	7,258 (40%)	3,864 (21%)

直近の管理区分

第1管理区分のみ	第2管理区分がある	第3管理区分がある	不明
57.9%	26.6%	14.2%	1.3%

情報のあった状況

年代	30代	40代	50代	60代	70代	計
人数	1(1)	1(1)	8(6)	8(3)	4(1)	22(12)

()は、死亡者で内数

【通信結果の際に把握された、胆管がん関係の情報について】

事業場から、胆管がんなどの情報があつたもの（すでに、労災請求されている事案は除く）は、22事業場で22人であった。なお、この中には労働者でない経営者4人が含まれている。

情報のあつた状況。（表4参照）

連絡のあつた事業者に対しては、発症者または遺族の労災保険の請求などにかかわる労働基準監督署への相談勧奨について説明している。

【胆管がんに関する相談窓口の状況】

厚生労働省および産業保険推進センターの窓口へ寄せられた胆管ガンに関する各種相談の状況は、東日本213件、西日本334件、産業保険推進センター105件の合計652件となる。

【今後の対応】

9月以降、各労働局において、有機則などの遵守についての集団説明会を開催するとともに、同説明会に出席しないなどの事業場に対し個別指導などを実施していくことにしている。

有機溶剤などの管理状況

	事項	している	していない	対象外	不明
1	高所排気装置又はプッシュプル型換気装置の設置	40.4%	38.4%	20.9%	0.4%
2	全体換気装置を設置	64.5%	23.9%	11.0%	0.6%
3	特殊健康診断の6か月以内ごとの実施	20.6%	77.5%	0.0%	1.9%
4	有機溶剤作業主任者の選任	35.4%	63.2%	0.0%	1.4%
5	有機溶剤等について、作業環境測定	14.7%	60.1%	21.5%	3.7%
6	衛生委員会の設置	12.0%	4.8%	64.9%	18.4%
7	産業医の選任	12.4%	3.9%	64.7%	19.0%
8	衛生管理者の選任	12.5%	4.2%	64.3%	19.0%
9	保護手袋の使用	80.6%	5.9%	8.3%	5.1%

〔(注)原則として、第1種、第2種有機溶剤については1、3、4、5が、第3種有機溶剤には2、4が必要。6、7、8については、労働者数50人以上の事業場について必要。9については、業務により必要〕



**日本印刷産業連合会表彰
高井昭弘氏「印刷功労賞」受賞**

(株)日本印刷産業連合会(足立直樹会長/日印産連)は、9月1日～30日までの「印刷の月」に際し、9月12日東京・紀尾井町のホテルニューオータニ本館「鶴の間」において、「2012年9月印刷の月」記念式典を開催しました。式典には、来賓、会員10団体の役員及び組合員、その他関連業界から600人が出席しました。

印刷業界は今年5月に発覚した校正印刷会社の胆管がん発症に端を発する労働衛生問題を受け、印刷業界がこれまで築き上げてきた社会的信頼を根底から揺るがしかねない事態に直面しており、一致団結した防止策の徹底が求められています。式典の席上、主催者を代表して挨拶した足立会長はこの問題を取り上げ、「労働衛生関連法令などへの対応を真摯に進め、業界を挙げて信頼回復に務めなければならない」と強調するとともに、この日に公開した「健康障害防止対策基本方針」(別項参照)を紹介。その上で、「厚生労働省や経済産業省の指導の下で、お得意様はじめ、従業員やその家族、そして地域の皆様に一日でも早く安心していただける諸施策を講じていく」としています。

表彰式では、平成24年度日本印刷産業連合会表彰が行われ、印刷功労賞を前愛印工組理事長を務めた高井昭弘氏(プリ・テック代表取締役会長)が受賞しました。

【受賞理由】

日印産連前常任理事、全印工連前副会長、愛印工組前

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事・場所・備考	
10月16日(火) ～ 10月21日(日) 10:00～18:00	事業・行事 ところ	第3回ポスターグランプリ入賞・入選作品展 愛知県美術館ギャラリー 展示室E・F [愛知芸術文化センター8階] ※入場無料 19日(金)は20時まで ※最終日は15時まで
10月21日(日)	事業・行事 ところ	第3回ポスターグランプリ入賞者 表彰式 愛知芸術文化センターアートスペースA(12階) 時間:10:30から(受付10:00から)
10月31日(水) 11:00～	事業・行事 ところ	優良従業員表彰 伝達式 メディアージュ愛知 表彰日:11月1日(木) 各事業所
11月14日(水)	事業・行事 ところ	マーケティングセミナー 「自分ブランドで勝ち取れ!」 ウイングあいち 11階 1101会議室 参加費:組合員4,000円 一般5,000円 組合員お2人目から3,000円 講師:奥ノ谷圭祐氏(株)ピーアイ社長 定員:80名
11月19日(月)	事業・行事 ところ	愛知県印刷工業組合・名古屋而立会 共催セミナー 勝ち残るためのヒントが 満載「大繁盛の法則」 ウイングあいち 9階 902会議 講師:西村 晃氏 経済評論家 定員:120名(先着順)
平成25年 1月16日(水)	事業・行事 ところ	平成25年新春 新年互礼会 名古屋東急ホテル 講師:島村博之氏(全日本印刷工業組合連合会会長) 演題:「新しいこと」を考え出す印刷会社の時代 ※講演会のみ参加を受け付けています。参加費は開催案内でご確認ください。13,000円(組合員・講演会含)16,000円(一般・講演会含)

理事長など、数々の要職を歴任。この間、全印工連の組織財務改革に取り組み、財政基盤の強化及び事務局の業務改善を遂行。また、経済産業省委託事業「我が国情報化社会における基盤整備事業」に取り組み、地域社会における中小印刷業の発展の可能性を示した「地域密着性と経済効率化の研究と提言」を取り纏めるなど、その功績は誠に顕著である。

今回、印刷功労賞を受けたのは、12名、印刷振興賞は16名ありました。また、特別賞には、「第41回技能五輪国際大会」で金メダルを獲得した亜細亜印刷(株)の伊東真規子さんらが受賞しました。また、今年で11回目を迎える印刷産業環境優良工場表彰では、経済産業大臣賞に選ばれた日経印刷(株)グラフィックガーデンをはじめ、17工場が表彰されました。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

www.toyoink.co.jp

中部支社 〒460-0002 名古屋市中央区丸の内1-15-20 丸の内ビルディング12F

Tel:052-218-7460



第3回「ポスターグランプリ」審査会 グランプリ（最優秀賞）など決まる

愛知印工組、岐阜印工組、三重印工組主催の「第3回ポスターグランプリ」審査会が9月11日午後1時よりメディアージュ愛知において行われ、グランプリ（最優秀賞）、優秀賞、中部経済産業局長賞、各県知事賞など、入賞作品が決まった。

ポスターグランプリは東海3県下の大学、専門学校、高校を対象として作品募集が行われ、応募点数は約300点。全体的にレベルの高い作品が集まった。

【第3回ポスターグランプリ入賞者一覧】

●グランプリ（最優秀賞）

渡邊美里（あいち造形デザイン専門学校 高等課程）

●優秀賞 大学生・専門学校生の部（3名以内）

伊藤友美（名古屋芸術大学）

恒川恵里奈（名古屋コミュニケーションアート専門学校）

岡山竣（専門学校日本デザイナー芸術学院）

●優秀賞 高校生の部（3名以内）

竹谷成美（愛知県立瀬戸窯業高等学校）

関仁美（サンデザイン専門学校 高等課程）

川添美奈（岐阜県立岐阜各務野高等学校）

●中部経済産業局長賞

木村友美（専門学校日本デザイナー芸術学院）

●愛知県知事賞

太田あゆみ（名古屋芸術大学）

●岐阜県知事賞

金森菜奈香（名古屋芸術大学）

●三重県知事賞

大原瑛未（三重県立飯野高等学校）

●名古屋市長賞（名古屋市居住または在住学校の在学学生）

大畑茜（名古屋コミュニケーションアート専門学校）

●愛知県教育委員会賞

鈴村伊吹（名古屋コミュニケーションアート専門学校）

●岐阜県教育委員会賞

加藤美佳（岐阜県立岐阜総合学園高等学校）

●三重県教育委員会賞

田久保京（三重県立飯野高等学校）

●名古屋市教育委員会賞

古寄萌子（名古屋総合デザイン専門学校）

●中日新聞社賞

高田若葉（名古屋芸術大学）

●中部デザイン団体協議会賞

村山翔太（愛知工業大学）

●全日本印刷工業組合連合会会長賞

大迫雄一郎（名古屋総合デザイン専門学校）

●愛知県印刷工業組合理事長賞

市野江里（名古屋総合デザイン専

門学校）

●岐阜県印刷工業組合理事長賞

山本夏美（あいち造形デザイン専門学校）

●三重県印刷工業組合理事長賞

田中菜穂（名古屋コミュニケーションアート専門学校）

入賞・入選作品は、「第3回ポスターグランプリ展」として10月16日より21日まで愛知県美術館ギャラリー展示室E・F（愛知芸術文化センター8階）において行われる。また、入賞者表彰式は10月21日愛知芸術文化センター／アートスペースA（12階）において行われる。

事務局だより

■朝晩やっと涼しくなりました。彼岸花も見かけるようになり、稲穂も頭を垂れてきました。近くにありません小学校や幼稚園は運動会がまぢかなのか、校庭では毎日賑やかな練習風景が見かけられます。■今月はメンタルヘルスセミナーの内容を掲載しました。セミナーは長時間行われましたので、講演内容の要点だけの掲載を考えていましたが、内容を要約してしまいますと、メンタルヘルス自体の理解ができない箇所も出てきますので、できるだけ講師のお話を生かしました。そのため、今月と来月の2回に分け掲載いたします。■ポスターグランプリの審査会が終わり、入賞、入選作品が決まりました。ここでは、入賞者の方のみ氏名を掲載しています。入選者については、ホームページをご覧ください。

あいちの印刷

No.491

平成24年10月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 〈052〉962-5771

FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp